



発行 自衛隊札幌病院
豊友会事務局

第66号
令和3年8月



「着任にあたり」

自衛隊札幌病院長

陸将 鈴木 智 史

この度の異動で、自衛隊札幌病院長を拝命した、鈴木陸将です。

この歴史ある自衛隊札幌病院で、勤務できる機会を得たことは、無上の喜びであるとともに、その重責に身の引き締まる思いです。

歴代病院長を始めとする諸先輩方が築き上げてきた、自衛隊札幌病院の良き

伝統を大切にしながら、陸上自衛隊の「救命ドクトリン」の実現を目標とした「衛生支援態勢の更なる実効性向上」のために、地域の医療の一翼を担いつつ、北部方面隊唯一の病院としての任務を完遂するために全力を尽くす所存です。昨年からの新型コロナウイルス感染対応において、防衛省・自衛隊の衛生部門は、感染拡大防止、水際対策強化に対する各種の災害派遣活動、市中感染期における部隊防護、健康管理支援や部内・地域における医療活動等を適切に行い、自衛隊衛生の信頼を高めてきました。今後もワクチン接種を継続して行う体制を維持するとともに、新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ、院務運営を行っていきます。

着任にあたり、統率方針を「信頼される自衛隊札幌病院の創造」としました。自衛隊病院は、効率的かつ質の高い医療を提供し、常日頃から、隊員の壮健性を維持し、部隊が即応できるよう各種支援を行う役割があります。また大規模災害等対処においては、病院として保持している能力を、積極的かつ迅速に前方に推進し医療支援を行い、部隊に対して万全な衛生支援を行うことがもためられています。職員それぞれが持っている知識・技術と英知を結集し組織化して、これらの役割をしっかりと果たし、隊員及び隊員家族から、地域の人々から、さらに国民から信頼される自衛隊札幌病院を創り上げていきたいと思えます。病院職員が一丸となり全力で、「何時如何なる任務が与えられようとも、事態に即応して任務を完遂する『強靱な陸上自衛隊の創造』」を実現するために、より一層「信頼される自衛隊札幌病院の創造」に向けて、先頭に立って専心努力することを誓い、着任のご挨拶と致します。



「豊友会長の挨拶」

自衛隊札幌病院豊友会

会長 黒澤 洋 一

ようやく東京オリンピックも始まり、北海道も猛暑が続いていますが皆様いかがお過ごしでしょうか。

コロナ禍における札幌病院の皆様のご活躍に深謝いたします。会長職をお引き受けして早1年、コロナ禍にもかかわらず事務局運営等にご協力いただく会員の皆様にも感謝申し上げます。

最近、自衛隊がコロナワクチン支援で大活躍されている様子をテレビで見た際、札幌のOBでもある旧知の先生をおみかけし懐かしく感動しました。

熱海の土石流災害でも自衛隊の活躍が報道されていました。この災害では思うところがあります。盛り土崩落とメガソーラーとの因果関係はかなりありそうなのに静岡県はなぜ否定し切れるのか不思議です。今、早急に国のエネルギー基本計画が作られようとしています。太陽光パネルの大半は国産ではなく、また、この設置を理由に北海道の土地が他国に買い占められているとの情報を聞きます。

エネルギー政策は国家安保の面からも再考されるべきだと思います。今世紀はデータの時代でもあります。言うまでもなくデータの重要性は医療、軍事まで幅広く増大しています。わが国ではデータ共有意識の欠落からか、このコロナ禍、病院間、保健所間でのデータ共有が進まず問題であると、情報学者の喜連川優氏が指摘されています。氏は、競争の激しいデータ工学の分野で、とりわけ防災と高齢者の分野は、日本が世界で勝てる分野である、とも述べられています。豊友会の会員の皆様もこれらのデータに協力できるのではないかと思います。戦争の形態がドローンなどを駆使して大きく変わろうとしている今、自衛隊衛生の任務も変化が求められ大変なことから推察します。

この会誌が発行される頃には、札幌での競技も含め東京オリンピックが成功すること、コロナが落ち着きまた以前のように交流できることを願っています。

札幌病院と会員の皆様の益々のご健勝とご発展を祈念します。

《令和3年人事異動等》

春の異動「転入者」

転入先	階級等	氏名	元勤務
総務部	曹長	笹谷 勝司	北部方面総監部付隊
総務部	曹長	高橋 圭光	第18普通科連隊
診技部	1曹	大野 秀久	板妻駐屯地業務隊
総務部	2曹	稲田 ひとみ	北部方面後方支援隊
診療科	2曹	天方 義智	第5後方支援隊
診技部	2曹	円 志保	北千歳駐屯地業務隊
診技部	2曹	堀 愛	第7後方支援連隊
衛材部	3曹	嘉山 裕敬	第25普通科連隊

春の異動「転入者」

転入先	階級等	氏名	元勤務
病院長	陸将	鈴木 智史	自衛隊中央病院
副院長	陸将補	小原 聖男	自衛隊中央病院
先任診療科部長	1佐	蝶野 元希	北部方面衛生隊
会計課長	2佐	朝倉 啓介	北部方面会計隊
復職支援班長	3佐	増田 俊輔	西部方面総監部
薬剤課長	3佐	山田 泰恵	関東補給地用翼支処
看護部	1尉	中野崎 美智子	自衛隊中央病院
看護部	1尉	熊谷 ゆかり	自衛隊中央病院
看護部	1尉	松本 真弓	第5旅団司令部
看護部	1尉	江口 唯	北部方面衛生隊
看護部	1尉	佐久間 貴史	自衛隊阪神病院
総務部	2尉	上村 隆治	札幌駐屯地業務隊
診技部	2尉	梅内 久嗣	第2後方支援連隊
看護部	2尉	石田 晴香	第2後方支援連隊
総務部	2尉	宮本 真一	第52普通科連隊
看護部	2尉	松村 裕介	第11後方支援隊
看護部	2尉	野村 夢花	第5後方支援隊
総務部	准尉	伊藤 秀和	北部方面衛生隊
診技部	准尉	松田 祐介	衛生学校
看護部	曹長	佐藤 浩三	供出安駐屯地業務隊

春の異動「転出者」

所属	階級等	氏名	転出先
副院長	陸将補	菊池 勇一	自衛隊仙台病院
外科部長	1佐	吉積 司	自衛隊別府病院
衛生資材課長	2佐	畑間 康二	関東補給地用翼支処
復職支援班長	3佐	齋藤 幸造	衛生学校付
看護部	1尉	山本 美枝	自衛隊中央病院
看護部	1尉	西村 佳奈子	北部方面衛生隊
診療科	1尉	古田 啓之	南恵庭駐屯地業務隊
看護部	3尉	植木 たいら	第5後方支援隊
看護部	3尉	桑山 紗和	第2後方支援連隊
看護部	3尉	杉野 理	第7後方支援連隊
看護部	3尉	安田 千尋	第11後方支援隊
診技部	曹長	伊藤 弘樹	北旭安平薬支処
総務部	曹長	平原 由幸	第11高射特科隊
総務部	曹長	山上 文輝	札幌駐屯地業務隊
准看護	2曹	福岡 敬介	北部方面衛生隊
総務部	2曹	山崎 俊治	第11通信隊
総務部	2曹	小西 利幸	第11通信隊
総務部	2曹	佐藤 弘実	第11戦車隊
衛材部	2曹	山本 真	北部方面衛生隊
診技部	2曹	二瓶 直人	需品学校

春の異動「転出者」(事務官等)

転入先	階級等	氏名	元勤務
総務部	行(一)2	島守 真奈美	北千歳駐屯地業務隊
企画室	行(一)2	藤井 貴公	補給統制本部

春の異動「転入者」(事務官等)

転入先	階級等	氏名	元勤務
総務部	行(一)2	皆川 美希	苗穂支処
総務部	行(二)4	中村 昌幸	第36警隊(空白)

春の異動「新規採用」(事務官等)

転入先	階級等	氏名	元勤務
企画室	行(一)1	飯野 晃司	
総務部	行(一)1	北 昌晃	
衛材部	行(一)1	福本 環	

令和3年「応募認定退官者」

病院長：大鹿 芳郎 (3/26)

令和3年「定年退官者」

自衛官：江畑晃太郎 (4/12)
 齋藤 末次 (4/14)
 神田 道人 (4/15)
 葛西 秀樹 (7/31)
 事務官：大畑 宣之 (3/31)

夏の異動「転入者」

転入先	階級等	氏名	元勤務
看護部	3佐	工藤 直美	仙台病院
看護部	1尉	渡部 昌代	北千歳駐屯地業務隊
看護部	1尉	縄 洋美	北部方面総監部
総務部	1尉	平野 央	北海道補給処
診療科	1尉	廣瀬 裕一	衛生学校付
診療科	1尉	廣瀬 美希	衛生学校付
診療科	1尉	遠藤 想	衛生学校付
診療科	1尉	酒井 祐貴	衛生学校付
診療科	1尉	濱口 大志	衛生学校付
診療科	1尉	関 雅彦	衛生学校付
看護部	1尉	山瀬 麻美	中央病院
看護部	2尉	上村 優果	西部方面衛生隊
看護部	2尉	松島 隆貴	阪神病院
看護部	2尉	野口 莉沙	第7後方支援連隊
看護部	曹長	中西 淳司	第5後方支援隊
診療科	曹長	佐藤 勝美	九州補給処大分翼支処
総務部	1曹	須藤 博一	北部方面会計隊
総務部	1曹	谷 真弓	第2高射特科大隊
資材部	1曹	木下 将吾	北部方面衛生隊
総務部	2曹	遠藤 豪	第10即応機動連隊
総務部	2曹	伊藤 智哉	北部方面後方支援隊
総務部	2曹	松本 あずさ	第11後方支援隊

夏の異動「転出者」

所属	階級等	氏名	転出先
看護部	3佐	田中 法子	中央業務支援隊
診療科	3佐	上西 寛途	中央病院
看護部	1尉	佐藤 純子	札幌駐屯地業務隊
看護部	1尉	山本 貴明	北部方面総監部
看護部	1尉	六渡 知子	第2師団司令部
診療科	1尉	鈴政 俊	衛生学校付
診療科	1尉	谷口 裕亮	衛生学校付
診療科	1尉	古川 祥之	衛生学校付
診療科	1尉	高田 美乃莉	衛生学校付
企画室	2尉	根本 忠明	第7特科連隊
看護部	2尉	加藤 美咲	阪神病院
看護部	2尉	福田 雪乃	中央病院
看護部	2尉	矢部 晃平	東北方面衛生隊
看護部	2尉	坂田 詩織	第7後方支援連隊
診療科	准尉	松本 康博	北部方面衛生隊
総務部	1曹	藤田 麻紀	札幌駐屯地業務隊
総務部	1曹	吉田 真	第28普通科連隊
衛材部	2曹	高橋 祐二	北部方面衛生隊
総務部	2曹	須藤 克拓	自衛隊札幌地方能力本部
総務部	3曹	成田 卓	北海道補給処
総務部	3曹	関口 正哉	第7特科連隊

《人事異動等》



副院長
陸将補 小原 聖勇

令和3年3月26日付で、副院長を兼ねて企画室長を拝命致しました小原聖勇（おばら きよはや）です。前任は自衛隊中央病院衛生資材部長兼ねて第4外科でした。平成17年10月の第11旅団司令部医務官以来の北方勤務で、3回目の北方です。医官としての専門は呼吸器外科で肺癌や気胸の外科治療に従事しています。自衛隊札幌病院の勤務は初めてです。新病院は病棟も明るくとても良い病院で、鈴木病院長のご指導をいただきながら優秀な勤務員と楽しく勤務しております。皆様のご指導、ご鞭撻を賜れば幸いです。



先任診療科部長
1等陸佐 蝶野 元希

3月の定期異動で北部方面衛生隊長から外科部長兼ねて先任診療科部長に着任しました。

北方勤務歴は20年を超え、札幌病院の地位・役割は、北方の自衛隊衛生と地域医療の両面から理解しているつもりです。

新型コロナ対応という未だ先の見えない状況の中ではありますが、方面・地域に貢献できるよう努力して参りますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和3年度 第1回即応態勢点検

令和3年4月19日(月)自衛隊札幌病院(病院長 鈴木陸将)は、防衛警備上の事態、災害派遣及び航空機事故などの事案発生時の初動対応の練度向上並びに即応態勢の実効性向上を目的とし、「令和3年度第1回即応点検」を実施しました。

部隊当直司令は「0500頃、道東地区において震度6強の地震が発生した。自衛隊札幌病院は、第3種非常勤務態勢に移行し、救護班は直ちに派遣準備を実施せよ。」の状況付与を受け、速やかに電話及びメールによる非常呼集を開始、当初残留の営内隊員が病院地下資材搬入口に集合し、部隊当直司令の指揮の下、携行資材の搬出・集積を行った。その後救護班員が到着し、人員・装備及び携行資材の点検から車両積載までを完了させ、派遣準備完了を統裁官(病院長)へ報告した。

統裁官(病院長)は「本点検はこれで終了するが、実派遣においては、これからがスタートであり、求められるものを考えて行動できるよう心構えをしっかりと保持してもらいたい。」と訓示を述べ状況を終了した。本点検においては、北部方面衛生隊から人員及び救急車の支援を受け、より実動に近い状況で実施することができ、初期の目的を達成しました。



資材積載



派遣準備完了報告



報告を受ける統裁官

《令和3年人事異動等》

春の異動「転入者」

転入先	階級等	氏名	元勤務
総務部	曹長	笹谷 勝司	北部方面総監部付隊
総務部	曹長	高橋 主光	第18普通科連隊
診技部	1曹	大野 秀久	板妻駐屯地業務隊
総務部	2曹	稲田 ひとみ	北部方面後方支援隊
診療科	2曹	天方 義智	第5後方支援隊
診技部	2曹	円 志保	北千歳駐屯地業務隊
診技部	2曹	堀 愛	第7後方支援連隊
衛材部	3曹	嘉山 裕敬	第25普通科連隊

春の異動「転入者」

転入先	階級等	氏名	元勤務
病院長	陸将	鈴木 智史	自衛隊中央病院
副院長	陸将補	小原 聖男	自衛隊中央病院
主任診療科部長	1佐	蝶野 元希	北部方面衛生隊
会計課長	2佐	朝倉 啓介	北部方面会計隊
復職支援班長	3佐	増田 俊輔	西部方面総監部
薬剤課長	3佐	山田 泰恵	関東補給地用買支処
看護部	1尉	中野崎 美智子	自衛隊中央病院
看護部	1尉	熊谷 ゆかり	自衛隊中央病院
看護部	1尉	松本 真弓	第5旅団司令部
看護部	1尉	江口 唯	北部方面衛生隊
看護部	1尉	佐久間 貴史	自衛隊阪神病院
総務部	2尉	上村 隆治	札幌駐屯地業務隊
診技部	2尉	梅内 久嗣	第2後方支援連隊
看護部	2尉	石田 晴香	第2後方支援連隊
総務部	2尉	宮本 真一	第52普通科連隊
看護部	2尉	松村 裕介	第11後方支援隊
看護部	2尉	野村 夢花	第5後方支援隊
総務部	准尉	伊藤 秀和	北部方面衛生隊
診技部	准尉	松田 祐介	衛生学校
看護部	曹長	佐藤 浩三	仙台駐屯地業務隊

春の異動「転出者」

所属	階級等	氏名	転出先
副院長	陸将補	菊池 勇一	自衛隊仙台病院
外科部長	1佐	吉積 司	自衛隊別府病院
衛生資材課長	2佐	畑間 康二	関東補給地用買支処
復職支援班長	3佐	齋藤 幸造	衛生学校付
看護部	1尉	山本 美枝	自衛隊中央病院
看護部	1尉	西村 佳奈子	北部方面衛生隊
診療科	1尉	古田 誉之	南鳥居駐屯地業務隊
看護部	3尉	植木 たいら	第5後方支援隊
看護部	3尉	桑山 紗和	第2後方支援連隊
看護部	3尉	杉野 理	第7後方支援連隊
看護部	3尉	安田 千尋	第11後方支援隊
診技部	曹長	伊藤 弘樹	北旭安平彈薬支処
総務部	曹長	平原 由幸	第11高射特科隊
総務部	曹長	山上 文輝	札幌駐屯地業務隊
准看学	2曹	福岡 敬介	北部方面衛生隊
総務部	2曹	山崎 俊治	第11通信隊
総務部	2曹	小西 利幸	第11通信隊
総務部	2曹	佐藤 弘実	第11戦車隊
衛材部	2曹	山本 真	北部方面衛生隊
診技部	2曹	二瓶 直人	備品学校

春の異動「転出者」(事務官等)

転入先	階級等	氏名	元勤務
総務部	行(一)2	島守 真奈美	北千歳駐屯地業務隊
企画室	行(一)2	藤井 貴公	補給統制本部

春の異動「転入者」(事務官等)

転入先	階級等	氏名	元勤務
総務部	行(一)2	皆川 美希	苗穂支処
総務部	行(二)4	中村 昌幸	第36警戒隊(空白)

春の異動「新規採用」(事務官等)

転入先	階級等	氏名	元勤務
企画室	行(一)1	飯野 晃司	
総務部	行(一)1	北 昌晃	
衛材部	行(一)1	福本 環	

令和3年「応募認定退官者」

病院長：大鹿 芳郎 (3/26)

令和3年「定年退官者」

自衛官：江畑晃太郎 (4/12)
 齋藤 末次 (4/14)
 神田 道人 (4/15)
 葛西 秀樹 (7/31)
 事務官：大畑 宣之 (3/31)

夏の異動「転入者」

転入先	階級等	氏名	元勤務
看護部	3佐	工藤 直美	仙台病院
看護部	1尉	渡部 昌代	北千歳駐屯地業務隊
看護部	1尉	縄 洋美	北部方面総監部
総務部	1尉	平野 央	北海道補給処
診療科	1尉	廣瀬 裕一	衛生学校付
診療科	1尉	廣瀬 美希	衛生学校付
診療科	1尉	遠藤 想	衛生学校付
診療科	1尉	酒井 祐貴	衛生学校付
診療科	1尉	濱口 大志	衛生学校付
診療科	1尉	関 雅彦	衛生学校付
看護部	1尉	山瀬 麻美	中央病院
看護部	2尉	上村 優果	西部方面衛生隊
看護部	2尉	松島 隆貴	阪神病院
看護部	2尉	野口 莉沙	第7後方支援連隊
看護部	曹長	中西 淳司	第5後方支援隊
診療科	曹長	佐藤 勝美	九州補給処大分弾薬支処
総務部	1曹	須藤 博一	北部方面会計隊
総務部	1曹	谷 真弓	第2高射特科大隊
資材部	1曹	木下 将吾	北部方面衛生隊
総務部	2曹	遠藤 豪	第10即応機動連隊
総務部	2曹	伊藤 智哉	北部方面後方支援隊
総務部	2曹	松本 あずさ	第11後方支援隊

夏の異動「転出者」

所属	階級等	氏名	転出先
看護部	3佐	田中 法子	中央業務支援隊
診療科	3佐	上西 寛途	中央病院
看護部	1尉	佐藤 純子	札幌駐屯地業務隊
看護部	1尉	山本 貴明	北部方面総監部
看護部	1尉	六渡 知子	第2師団司令部
診療科	1尉	鈴政 俊	衛生学校付
診療科	1尉	谷口 裕亮	衛生学校付
診療科	1尉	古川 祥之	衛生学校付
診療科	1尉	高田 美乃莉	衛生学校付
企画室	2尉	根本 忠明	第7特科連隊
看護部	2尉	加藤 美咲	阪神病院
看護部	2尉	福田 雪乃	中央病院
看護部	2尉	矢部 晃平	東北方面衛生隊
看護部	2尉	坂田 詩織	第7後方支援連隊
診療科	准尉	松本 康博	北部方面衛生隊
総務部	1曹	藤田 麻紀	札幌駐屯地業務隊
総務部	1曹	吉田 真	第28普通科連隊
衛材部	2曹	高橋 祐二	北部方面衛生隊
総務部	2曹	須藤 克拓	自衛隊札幌地方協力本部
総務部	3曹	成田 卓	北海道補給処
総務部	3曹	関口 正哉	第7特科連隊

《職場紹介シリーズ》



会員:竹村晃良

豊友会会員の皆様お元気でしょうか、前豊友会事務局長の竹村です。

今年もコロナ過で大変な思いをされて生活されていることと思われませんが、無事にお過ごしのことと思います。オリンピック後どんな生活になっているのか？

この会誌が届く頃には通常の生活に戻り、また皆様とお会いでき楽しく新年会・懇親会ができることを祈念します。

私は現在北海道後期高齢者医療広域連合に勤務しております。平成22年定年後すぐに採用され今年で12年目となっております。当時再就職が決まらず、F先生にお願いし、履歴書をお渡ししていたところ厚生労働省北海道支局の総務課長から病院ではなく申し訳ないのですが後期高齢の事務局の募集していますが受ける気はないですかとの連絡を受け、願ったり叶ったりの事で即面接を受け採用となりました。

後期高齢者医療広域連合とは国保・社保・協会健保と同じ健康保険組合です。

75歳以上は全員及び65歳から74歳までの一定の障害認定があり本人の希望により認定された方が該当となる健康保険です。各都道府県に其々1個の広域連合があります。

北海道の広域連合の組織構成としては道・市区町村役所からの派遣及び国保連合会からの派遣（業務支援）と専門職員（私と保健師）更に臨時職員よる50名弱で構成されております。派遣は道及び市からは3年間、町村からは2年間の任期で勤務します。従って毎年半分弱交替で人が入れ替わります。

そのため半分位が変わる年度には職場の雰囲気が大きく変わります。

各市区町村に窓口業務がありますが事務局は札幌の1箇所（国保会館）で後期高齢の健康保険業務全てが集約されています。

私の勤務形態は週休3日で1日7時間30分の勤務です。残業手当の予算がないためは基本しない様にとされています。一昨年度まで定年があり昨年度で定年と思っていたら昨年度から定年制がなくなり、健康なうちは働いてくださいと言われて現在も勤務しています。

業務内容は主に第三者行為による求償業務で内容は交通事故と他人の行為で受けた怪我・病気（病院や施設、誰かの飼い犬に咬まれた、暴力等）で健康保険証を使用した治療費の求償業務です。

本人及び加害者並びに損害保険会社との調整・届け出業務の要請及び処理、損害保険会社や加害者へ治療費の求償業務を行っております。

当初この第三者の求償業務は後期高齢者医療広域連合が設置されたばかりで殆ど認識もされず、以前は交通事故で健康保険証を使用できなかったため交通事故等で平成20年1月から健康保険証を使用出来ることになっていたが届け出が必要との認識がなく届け出されず、求償出来ていませんでした。

採用時局長からは少しずつ求償件数と求償金額を増やして行って下さいと言われて、色々試行錯誤を重ね毎年求償件数・求償金額を増やし、調整及び求償業務量が増え続けるため私と同じ業務をやる人員を増やして頂ける様言い続けていましたが、検討してくれず（2~3年で交代するため自分の居る時に面倒なことをしたくない気持ちか？）願いは叶わずにいました。

しかし毎年億単位で求償額を増やし続け令和元年度の求償金額は6年前に比較し3.5倍の求償金額となっていたため、こんなに増やしているのであれば業務量も多くなり今後もさらに増額してもらいたいとのことで、昨年度ようやく増員のため検討していただくようになり議会の承認を得るため班長及び担当事務局次長が説明資料作成等ご尽力していただいた結果、承認され昨年12月に一人増員し新年度から採用する事が決定しました。やはり諦めず、10年間言い続けて来て良かったと痛感しました。

その時期丁度、江畑君から竹村さんどんな仕事しているのですかと連絡があり、見学に行っていましたかとその事でありました。一度来てみたらとの話になり来局の運びとなった次第です。

来局時に新年度の募集をするための準備をしている最中であつたため、その後速やかに採用試験申請の運びになり、受験・面接試験となり令和3年4月途中から採用となりました。

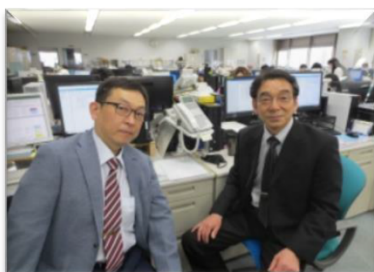
現在は江畑君と2人で同じ業務を実施しています。

早くすべての業務を理解し一人前になって頂くように指導しながら頑張っています。

今後は健康な限りしばらくは人生の張りのため、生き生きとした生活のため張りきって仕事をしたいと考えております。

私生活も冬はスキー・スノボードを毎週2~3日、夏はゴルフや野球観戦とスポーツを楽しんでおり、孫とも動き回っているお陰でしょうか？まだまだ元気です。

今後とも宜しくお願いいたします。



職場の風景



職場の外観

豊友会事務局便り

事務局長 三井康熙

1 事務局長挨拶

会員の皆様には、日頃から自衛隊札幌病院豊友会の活動にご協力いただきありがとうございます。

昨年来の新型コロナウイルスの感染拡大は未だ終息には至らず、昨年に引き続き、親会等の開催は困難な状況が続いています。ワクチン接種が進み穏やかな日常が送れるようになるまでの間、新しい生活様式に留意してコロナ禍を乗りきりましょう。ご家族を含め会員皆様のご健勝を祈念申し上げます。今後ともご指導・ご協力よろしくお願いたします。

2 活動状況

(1) 令和3年度役員会・臨時総会

ア 令和3年4月17日(土)20名の役員の参加を得て自衛隊札幌病院会議室において、令和3年度豊友会役員会を開催。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から昨年に続き、本役員会を臨時総会として開催し、前年度事業報告・収支決算報告及び今年度の事業計画・予算計画等を審議・承認

イ 役員の交代

監事:町田陽信氏が下番、青木浩司氏が上番

ウ 令和3年6月12日自衛隊札幌病院創立66周年記念行事に際し祝電を送信

(3) 慶弔等

ア 慶 事(4名)

令和3年春の叙勲:瑞宝双光章:近藤一夫様、若宮克己様、船戸佳津幸様、瑞宝単光章:後藤良子様

イ 弔 事

井上郁夫様(84歳)令和2年12月6日逝去(令和3年7月承知)

会則に基づき香典等の送付を実施し弔意を表しました。(ご冥福をお祈りいたします。)

3 令和3年度予定

(1) 新年会(コロナ禍の状況による)

令和4年1月上旬予定

(2) 豊友誌の発行:年2回(8月・1月発行予定)

(3) 長寿者記念品贈呈者

米寿3名、傘寿2名を予定

4 令和2年11月から現時点までの豊友会入会者(4名)

糸川隆之様、落合齊二様、大鹿芳郎様、神田道人様

5 連絡事項

(1) メール連絡網について

今年度からメールによる連絡網の運用を開始します。新たにメール連絡網ご加入いただける方は、こちらのアドレス「greenrugger3712@yahoo.co.jp」にお名前を記してメールを送信してください。

(2) 豊友会誌への記事投稿についてお願い

新型コロナウイルス感染症の影響により例年のような活動が難しくなっています。

趣味のお話、職場の紹介、会員間交流、回顧録等、ジャンルは問いません。情報発信の場として活用していただければと存じます。ふるって御投稿下さい。投稿記事は、下記にお送りください。会員皆様からの記事の投稿をお待ちしております。(A4版1枚程度)

☆投稿方法:事務局員又は自衛隊札幌病院の下記メールアドレスへ送信又は郵送でも可能です。

○札幌市南区真駒内17 自衛隊札幌病院企画室 :「saporohosp-na@inet.gsdf.mod.go.jp」

○札幌市豊平区豊平8条11丁目1-1-902 事務局長 三井康熙 :「ymtsh8321ocb@gmail.com」

○事務局「会誌、メール担当」:「greerugger3712@yahoo.co.jp」

(3) 会費の納入について

昨年来、懇親会等の開催ができず、会場での会費の受付が出来ない状況です。年会費は、口座振込での納入をお願いします。

豊友会会費の納入口座は、下記の通りです。

郵貯銀行 記号19090 口座番号21181151 口座名 ジエイタイサッポロビヨウインホウユウカイ

年会費2,000円

※振込手数料は各自負担でお願いします。